

# 新たな府民意見について(主なご意見)

資料 4

総件数 10,786件(平成23年3月14日～11月17日分)  
 前回以降の件数 6,844件(平成23年10月28日～11月17日分)  
 メール、ホームページ問い合わせシステム : 179件  
 電話 : 411件  
 FAX : 10件  
 郵送 : 3件  
 来庁 : 35件  
 署名 : 6,206件

※ 太字は前回以降の新しいご意見

◆反対意見: 6,836件

(件)

情報公開、周知について	168
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の周知が不足している、新聞やテレビでも報道すべき</li> <li>府民の意見が反映されていない、府民の意見について議論して回答してほしい</li> <li>検討会議のメンバーに府民代表や反対派の有識者を加えてほしい、傍聴者にも発言させてほしい</li> <li><b>リスクや処分方法について説明する住民説明会を開催してほしい、委員と意見交換会をしたい</b></li> <li><b>府民の合意を得る手続きは取れるのか</b></li> </ul>	
処理処分について	127
<ul style="list-style-type: none"> <li>現存の施設では安全な処理を行うことができない</li> <li>作業員の方の健康被害が心配</li> <li>焼却によって放射性物質が拡散される</li> <li><b>焼却処理場や埋立場への自然災害の対策はどうするのか</b></li> <li>低濃度汚染であっても焼却すれば濃縮する、フィルターについて高濃度の飛灰を安全に処理することは可能か</li> <li><b>放射線量が上がった場合、対応策はあるのか</b></li> </ul>	
健康被害について	126
<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの健康被害が心配、安心して子育てできない</li> <li>晩発性障害(がん、白血病等)が起こる</li> <li>体内に放射性物質が蓄積して長期的に内部被ばくを受ける、放射能汚染は何世代にもわたり続く</li> <li>内部被ばくのほうが外部被ばくより危険</li> <li>東北・関東ではすでに健康被害が出ている</li> <li>妊婦やこれから子どもを産もうとしている女性への影響が心配</li> <li><b>健康被害についてきちんと調査して把握できるのか、内部被ばくを測定できる機器を導入してほしい</b></li> </ul>	
受入、復興支援について	126
<ul style="list-style-type: none"> <li>他の復興支援を考えるべき (被災者の受入と雇用、安全な食物の供給、処理施設増設のための資金や人材の投入等)</li> <li>受入拒否を表明している周辺府県にも影響を及ぼす</li> <li>福島県の高濃度の汚染区域で処理を行うべき</li> </ul>	
検討会議、処理指針について	123
<ul style="list-style-type: none"> <li><b>自然放射線量に加えて、現在食品は5mSv/年の基準で出回っており、さらに災害廃棄物の処理で1mSv/年の被ばくが上乘せされるのは問題</b></li> <li>濃度だけでなく総量で考えてほしい、<b>災害廃棄物処理によって最終的にどれくらいの被ばくがあるのか示してほしい</b></li> <li>基準を検討するときに次のものを参考にしてほしい (従来の埋立の基準である100Bq/kg、クリアランスレベル10μSv/年、ECRRのモデル)</li> <li>国が発表しているのが暫定基準である中、それに沿って基準を策定するのは問題がある</li> <li><b>焼却灰の基準だけでなく、持ち込み時の廃棄物の基準も設けてほしい</b></li> <li>受入前から放射線量を種類ごとに測定して公表してほしい(測定は第三者機関が行うべき)</li> <li><b>被災地や高濃度汚染が確認された関東の処理施設等の汚染状況を現地確認しに行き、詳しいデータを示すべき</b></li> </ul>	
住居・食物について	110
<ul style="list-style-type: none"> <li>東北・関東の人が避難してきている、安心して住める土地を確保すべき</li> <li>安全な食物を供給できなくなる</li> <li>空気や水、土壌等の環境汚染が広がる</li> </ul>	
放射性物質、放射性物質に汚染された廃棄物の安全性について	56
<ul style="list-style-type: none"> <li>放射線には閾値がない</li> <li>実証もなしに安全性を確保できると言えるのか</li> <li><b>人がミスをしたり、性能の良い機械でも壊れたりするため、計画通りに進むとは限らない</b></li> </ul>	
災害廃棄物の汚染について	52
<ul style="list-style-type: none"> <li>セシウム以外の放射性物質も測定すべき</li> <li>大量の廃棄物を正しく測定し、選別できるのか</li> <li>放射性物質は焼却処理してもなくなり、いったん拡散されると回収することができない</li> </ul>	
国の基準について	48
<ul style="list-style-type: none"> <li>国の基準は信用できない、日本の基準は世界的に見て高すぎる</li> <li>国やマスコミは正しい情報を流さない</li> <li>ガイドラインの内容を見ても徹底的な安全管理ができていないとは思えない</li> <li><b>国の基準以下の廃棄物を受け入れて処理していても高濃度排水になった例がある</b></li> </ul>	
責任について	35
<ul style="list-style-type: none"> <li>国や東電に責任を迫すべき</li> <li>賠償責任は負えるのか(健康被害、精神的被害、避難費用、風評被害等)</li> </ul>	
その他	31
<ul style="list-style-type: none"> <li>外国との関係に影響が出る(輸出、観光等)</li> <li>あらゆる産業や経済に影響が出る、風評被害を受ける</li> </ul>	

◆賛成意見: 8件(条件付きの意見も含む)

主な内容	8
<ul style="list-style-type: none"> <li>汚染のないがれきは受け入れてよい、震災前の基準であれば受け入れてよい</li> <li>放射性ガスを回収する設備があるのであれば焼却処理してよい</li> <li><b>再生処理についても検討を進める等、積極的に支援すべき</b></li> </ul>	